

# yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より  
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 2 0  
平成 20 年 2 月 7 日  
情報教育アドバイザー  
広田 さち子

## F 5 キー

パソコン室のパソコン(一般的なデスクトップパソコン)のキーボードには、ボタンがいくつあるかご存じでしょうか。

このキーボードは、109日本語キーボード、といって、ボタンは109個あります。意外に多いですね。実はこのキーボードのキー数は、昔に比べてだんだん増えてきています。これは、(想像ですが)パソコンを作っている人や、よく使う人たちが、マウス操作よりキーボードでのパソコン操作の方が、楽で早くて便利だ、と感じるようになったことと、もう一つ、むしろこちらの方が大切かもしれないが、マウス操作が困難な人たちのための工夫でもあります。。

ウィンドウズキーや、アプリケーションキーなどは便利なキーですが、少し前のキーボードにはありませんでした。

ウィンドウズキーを押すのは、マウスで「スタート」をクリックしたのと同じです。アプリケーションキーは、マウス位置(最後にクリックした位置)で右クリックしたのと同じ効果を持ちます。



ウィンドウズキー

最近のキーボードでは、「インターネット」や「メール」というボタンがあり、更に、「コピー」「切り取り」「貼り付け」などというボタンを持つキーボードまで現れました。

そんな中、機能キーと呼ばれる12個のキー(F1～F12)は、もともと何かの機能が割り当てられることを想定して作られたキーです。通常、このいくつかは、あらかじめパソコンやメーカー、アプリケーションによらない共通の機能に割り当てられています。先に

ご紹介している F2キーや、ヘルプを表示する F1キーもその一つです。こういった機能キーの役割を知っていると、マウスより素早く目的の操作を行うことができます。



アプリケーションキー

ここでは、F5キーを紹介します。これは、「再表示」または「最新の状態にする」キーです。

インターネットを見ているときは、ホームページの再読込。

マイコンピュータなどでは、表示を最新にすることができます。「開く」や「保存」の画面(ダイアログボックス)でも同様です。

このキーはたいへん役に立つキーです。アプリケーションで特別に機能が割り当てられていなければ、たいへんどこでも使えるので、是非おためしください。

